

決算特別委員会（柴田勇雄委員長、山岸はる美副委員長）を設置し、9月7日に各会計の27年度決算の審査を行いました。
主な質疑の内容をお知らせします。

一般計

**定住住宅の
入居状況は** 総務
企画

問 中村地区と五日市地区に整備した定住促進住宅の、入居状況は。

答 中村地区は6戸のうち5世帯10人、五日市地区は6戸のうち3世帯3人が入居しています。

町外から移住する方を優先的に入居させています。

**携帯電話の
不感地帯は** 総務
企画

問 町内の携帯電話不感地帯の状況と、今後の解消計画は。

答 町内の携帯電話の世帯カバー率は99%で、約20世帯がサービスを受けられない状況です。

一部の不感地帯で、屋外音声放送施設を増設し、最低限の緊急情報や災害情報を入手できるように整備しました。

通信業者に働きかけをするなど、引き続き解消に向けて努力します。

**自主財源確保
今後の対策は** 総務
企画

問 自主財源確保に向けた、今後の対策は。

答 自主財源の中心となる町税の確保対策として、役場内に税徴収の特別対策本部を設置し、課長職による税徴収の訪問や、県の滞納整理機構と連携した滞納処分などで確保に努めます。

**新酪農構想
活動実績は** 農林
環境

問 新くずまき型酪農構想の実現に向けた、活動実績は。

答 新酪農構想の実現に向けて、先進地への視察研修を行いました。海外の大規模酪農家の先進事例を学ぶためにカナダを視察し、国内では、群馬県の酪農家などを視察しました。

**牧草地の除染
今後の計画は** 農林
環境

問 牧草地の除染事業実績と、今後の計画は。

答 27年度までに約705ヘクタールの除染を行い、28年度は約220ヘクタール更新予定です。除染計画面積の2000ヘクタールに対して

46%の実施見込みですが、残りの面積は、傾斜地などで作業が困難な状況です。

**町有林の伐採
再造林計画は** 農林
環境

問 町有林の伐採、再造林の計画は。

答 定期的な林内巡回で町有林の状況を確認しています。伐採の適期に達している町有林は、市場相場などを見ながら伐採を検討します。

また、樹種選定や造林費用などに考慮しながら再造林を進め、健全な町有林の育成に努めます。

**総合運動公園
利用の状況は** 教育
委員会

問 総合運動公園多目的グラウンド改修後の、利用状況は。

答 施設改修前と比較して、利用者が約5千人増加しました。人工芝の整備により、サッカー競技の大会が多く開催されたことなどが増加の要因です。

施設の利用者からは、天候に左右されることなく、快適な環境で利用できるという声があります。

特別計

**国保税の徴収
今後の戦略は** 国保
会計

問 国民健康保険税の、今後の徴収戦略は。

今後、陸上合宿の誘致や陸上教室の開催などで、子供たちの陸上競技力の向上に努めながら、スポーツ・ツーリズムを推進します。

**江刈簡易水道
工事の状況は** 建設
水道

問 江刈簡易水道整備工事の進行状況と、台風10号による工事完成箇所被害状況は。

答 27年度末の工事の進行率は38%で、計画どおり進んでいます。

台風10号により江刈地区の本木橋付近の国道が決壊し、敷設していた水道管が破損して応急対応しましたが、本格復旧までには時間を要する状況です。

賛成討論（要約）

鈴木 満 議員

私は、27年度一般会計と特別会計の歳入歳出決算を認定することに賛成の立場から討論します。

27年度は、鈴木町政3期目がスタートし、施政方針で掲げた3つの重点施策が大きく前進した1年でした。

「安心して住み続けたいまちづくり」では、1000円バスの運行を継続し、住民生活の足の確保を図りました。そのほか、自主防災隊用の装備品を充実するなど、地域防災力の強化に努めました。

「夢のあるまちづくり」では、子育て支援となるマタニティライフサポート事業の新設、児童生徒医療費助成の対象を高校

生にまで拡充して無料化にするなど、子育て世代の負担軽減を図りました。

「誇りを持てるまちづくり」では、今後15年間の町づくりの指針となる総合計画を策定したほか、町の人口減少問題や地方創生に向けた基本目標を定めた総合戦略を策定し、町のさらなる発展に向けた道筋が新たに示されました。

一般会計は、各種事業が効果的に実施されており、総合的に高く評価します。

特別会計は、それぞれの予算の趣旨に沿った執行がされており、所期の目的が達成したと感じます。

■ 反対討論なし



改修後の総合運動公園多目的グラウンドの人工芝でサッカー競技を行う選手



カナダの牧場を視察する町内の酪農家ら